

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年度～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	磐城森林計画区 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区内の国有林は、大部分が阿武隈山地に位置し、宇多川、真野川、新田川、請戸川、夏井川、鮫川等の主な河川の源流部を占め、川下の地域の水源地として重要な役割を担っている。国有林面積は86千haで、磐城流域における森林面積の42%を占め、スギを主体とする人工林が68%、天然林が32%となっている。また、松川浦、夏井川溪谷、磐城海岸、勿来県立自然公園等の景勝地も多く、自然探勝やハイキング等森林を利用したレクリエーション・保健休養の場としても利用されている。</p> <p>このような中で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により沿岸部の海岸防災林が甚大な被害を受けるとともに、その後発生した福島第一原子力発電所の事故による著しい影響が生じている。</p> <p>当計画区の森林については、これら被災した森林等の早期復旧等が求められるとともに、水源の涵養、山地災害の防止、林産物の供給等の機能の発揮、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮や、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等への寄与等森林の持つ多面的機能への国民の期待が高まっており、かつ高度化・多様化してきている。</p> <p>このため、被災した森林等の早期復旧を図るとともに、本事業により、国有林への地域の要請に応えるべく、木材の安定供給を確保、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進やこのための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐等の利用推進に資することを目的としている。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,970 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>9,804 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>43.8 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.2 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>4,949,411 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,970 ha			保育面積	9,804 ha		路網整備	開設延長	43.8 km			改良延長	1.2 km	総事業費			4,949,411 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,970 ha																				
		保育面積	9,804 ha																				
	路網整備	開設延長	43.8 km																				
		改良延長	1.2 km																				
総事業費			4,949,411 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	34,826,052 千円																					
	総費用(C)	6,443,123 千円																					
	分析結果(B/C)	5.41																					
関東森林管理局事業評価技術検討会の意見	評価対象事業について、必要性、有効性、効率性が認められる。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 水源の涵養や国土保全、地球温暖化防止対策及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備及び路網整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能(特に水源涵養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

様式1

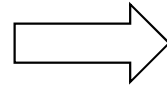
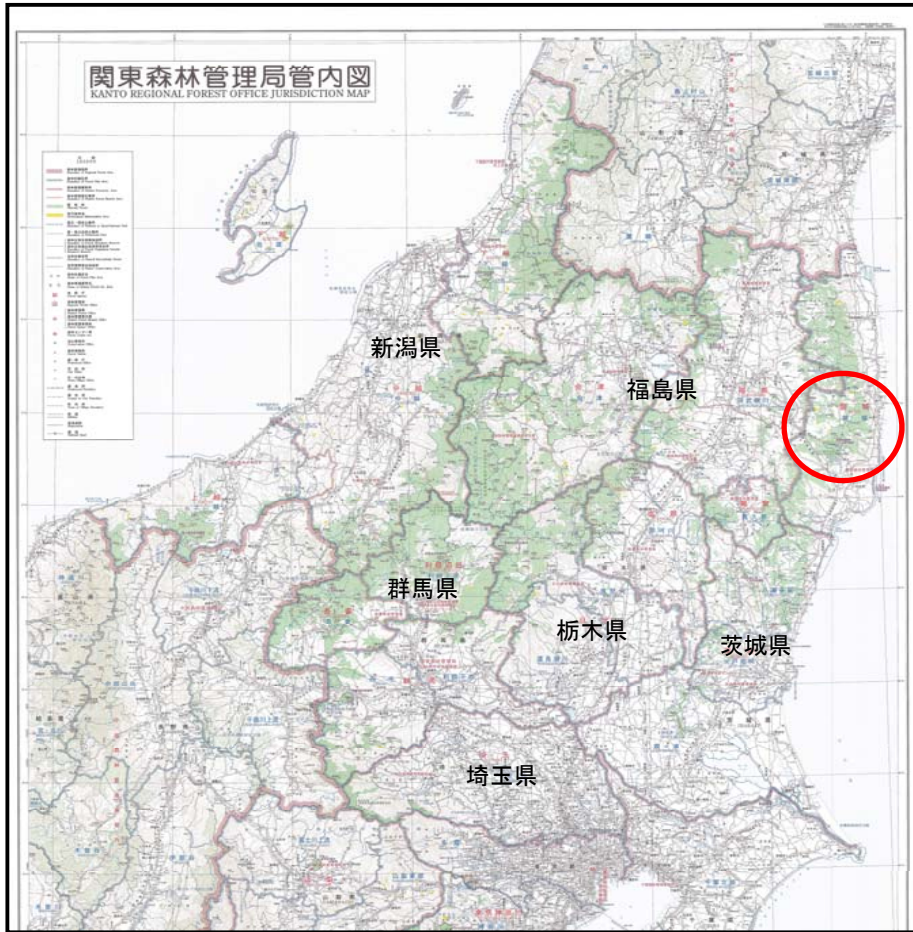
便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：磐城森林計画区

都道府県名：福島県
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	9,237,212	
	流域貯水便益	2,110,825	
	水質浄化便益	4,468,210	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,610,382	
環境保全便益	炭素固定便益	5,385,478	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	685,229	
	木材生産確保・増進便益	2,359,777	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	103	
	治山経費縮減便益	396,097	
	森林管理等経費縮減便益	48,524	
	森林整備促進便益	524,215	
総 便 益 (B)		34,826,052	
総 費 用 (C)		6,443,123	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{34,826,052}{6,443,123} = 5.41$		

森林環境保全整備事業 磐城森林計画区(福島県) 事業概要図



対象計画区拡大図

